「ISPSハンダマッチプレー選手権」8月1、2日、9月6～10日

男子日本ツアーで14年ぶり開催

賞金総額2億1000万円、優勝5000万円ともにツアー最高額

男子プロゴルフの「ISPSハンダマッチプレー選手権」のプレス発表会が21日、都内で行われた。日本ツアーでマッチプレー戦が行われるのは実に14年ぶり。賞金総額2億1000万円、優勝賞金5000万円はいずれもツアー最高額となる。主催のISPS（国際スポーツ振興協会）は昨年まで「ISPSハンダグローバルカップ」を開催していたが、今年からゴルフの原点といわれるマッチプレーの大会に変更した。会場は千葉・浜野ゴルフ倶楽部で8月1、2日、9月6日～10日の2回に分けて開催。104選手が出場する。

「ISPSハンダマッチプレー選手権」プレス発表会に出席した半田晴久会長

千葉・浜野ゴルフ倶楽部

半田会長がゲキ！日本選手よ技術を磨き世界と戦え

経費抑え夢へ上乗せ

日本選手の実力アップについて「なぜ14年間もマッチプレーの大会がなかったんですかね。世界の一流選手は、ストロークプレーもマッチプレーも強い。この大会がなくてはならないと感じていた。「テレビ放映がやりにくいという理由から途絶えていたんだろうと思う。マッチプレーはいつ決着がつくかわからないし、1組をずっと追いかけるわけにもいかない。それならテレビ放映抜きでやればいいのではと思いました」と話す。

そんな折、大西久光日本ゴルフツアー機構（JGTO）副会長（80）と会う機会があった。二人は兵庫県で鳴尾小学校の同窓生。話はすぐにまとまり、大会はISPSとJGTOの共催に決まった。

賞金総額は2億1000万円、優勝賞金5000万円となり、ツアー最高金額。「本当はもっと高くしたいところだが、他の大会との兼ね合いもあってこれでも抑え気味にした」という。大西氏の「観客動員に固執しない」などさまざまな試験的アイデアを導入し、経費を抑えた分賞金に上乗せ。夢のある大会にしている。

「若い選手たちにマッチプレーを経験してほしい」と半田氏は願っている。

がっちり握手する半田晴久会長（左から2人目）と日本ゴルフツアー機構の大西久光副会長。左端は谷原秀人、右端は藤本佳則

104選手が参加し106マッチ、観戦は駐車50～100台の早い者勝ち

JGTO大西副会長が試験的な試み

大会のディレクターは大西氏が務める。元ダンロップスポーツエンタープライズ社長で、これまで数多くの大会を手掛けている。

「20年ぶりのプロデュースで、ワクワクしています。大会運営は以前とほとんど変わっていませんね。この大会を1トーナメントとしてだけでなく、ゴルフ界の活性化につなげたいですね」と話す。

放送はBSとインターネット配信、地上波は使わない。さらに8月1、2日に行われる1、2回戦の観戦チケットは販売しない。「見られるのはクラブハウス前に駐車できる50～100台程度。早いもの勝ちで、特に駐車場の確保などはしない」と試験的な試みを実施する。3回戦以降はコース、インターネットで販売を予定している。

大会はシード選手8人を含む104選手が参加し、106マッチを行う。「これは世界でも類がないでしょう」と胸を張る。主催者推薦なども一切なし。

人数が多いためまずストロークプレーで予選を行い、上位32人にマッチプレーの出場権を与えたらという案も出たが「マッチプレーは勝負弱い人は勝てない。若手にも経験してほしい。世界の舞台で活躍できるようになるためにも」と却下した。

「ゴルフ界活性化のためにもいろいろな改革が必要。まずはこういう大会から始めたい」と知恵を絞っている。

谷原秀人

藤本佳則

谷原秀人「気合入れる」藤本佳則「恩返し」

会見にはISPS所属の谷原秀人（38＝写真左）と藤本佳則（27＝同右）プロが出席した。昨年賞金ランク2位の谷原は3回戦からの出場となる。「賞金額が大きいので、選手たちもこの大会に絞って臨んでくると思う。4位に入れば1発でシード権が取れるし、賞金王にも近づく。強靱（きょうじん）な体力とメンタルが要求されることになると思う」と話した。

ISPS HANDAワールドスーパー6パース」（15位タイ）と「WGC―デル・マッチプレー」（4位）を戦っている。「メンタル面ではかなり鍛えられたと思う。大会では気合を入れて頑張りたい」と宣言。

一方の藤本は1回戦からの出場で、優勝するには7回勝ち抜かなければならない。「半田会長には大変お世話になっているので、恩返しをしたい。いい状態で臨みたい」と誓った。

よ開催概要よ

◆出場資格　ツアートーナメント獲得賞金順の上位者と、17年のWGCブリヂストンインビテーショナル出場資格獲得者をあわせた8人が3回戦から出場する。1回戦は17年ISPSハンダグローバルチャレンジ優勝者を含む96人が出場。優勝賞金は5000万円で2位は2500万円。4位でも1000万円が獲得できる。

◆放送　10月以降にBS11でベストマッチを放送予定。ライブ配信は「FRESH！」で行われる。

◆チケット　3回戦から決勝までの前売り5枚つづりは6000円（税込み、各日共通）。18歳以下は無料だが大人同伴の場合に限る。販売は浜野ゴルフクラブまたはゴルフパーク（http://golfpark.jp、インターネット販売は8月31日まで）。当日券は2000円。詳しくは大会事務局☎03・6890・0877（平日午前10時から午後6時）まで。

◆ISPSとは　2006年（平18）に設立された一般社団法人国際スポーツ振興協会（International Sports Promotion Society）の略称。スポーツの振興を通して、社会福祉活動および国際協力活動を行っている。

専属プロゴルファーとして、谷原秀人、藤本佳則、酒井美紀、森井誉らが所属。シニアゴルフ、ブラインドゴルフ、ジュニアゴルフ、ボウリング大会などを主催している。

イギリス、オーストラリア、ニュージーランドなど海外でも主催大会を実施し、15年から男子ツアー「ISPSハンダグローバルカップ」を開催。16年6月6日には、PGAツアー・オブ・オーストラレイジアとのパートナーシップを締結した。17年3月からニュージーランドサッカー協会のメインパートナーとしての活動も始まっている。

今季からJリークの東京ヴェルディのメインコーポレートパートナーとなり、ユニホームの胸やスタジアム看板などに「ISPS HANDA」のロゴを掲出している。

12年から全日本アーチェリー連盟を支援し、13年からは、ロンドンのテムズ川で開催されている「国会議員ボート競技大会」もスポンサードしている。絶滅危惧種を保護する活動Tuskともパートナーシップを締結。